

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

建物は直接法による定額法で減価償却を実施している。

建物以外は直接法による定率法及び直接法による定額法で減価償却を実施している。

(2) 消費税の会計処理方法

消費税込額で表示している。

2. 基本財産及び特定資産等の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産等の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位:円

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,072,033	0	0	5,072,033
小計	5,072,033	0	0	5,072,033
特定資産				
退職給付引当資金三菱	7,698,580	888,707	0	8,587,287
会館取得積立資金三菱	15,000,000	0	0	15,000,000
会館取得積立資金JA	27,010,011	3,000,540	0	30,010,551
会館取得積立資金三菱2	8,000,000	0	0	8,000,000
会館取得積立資金千葉銀	5,000,424	85	0	5,000,509
会館取得積立資金興銀	5,000,500	100	0	5,000,600
小計	67,709,515	3,889,432	0	71,598,947
合計	72,781,548	3,889,432	0	76,670,980

3. 固定資産等の取得価額、当期減価償却額、当期末残高は、次のとおりである。

単位:円

科目	取得価額	当期増加額	減価償却費	当期末残高
建物	23,021,337	0	1,686,743	1,655,689
車両	1,141,943	0	154,638	1
器具備品	5,174,073	1,186,680	574,784	2,174,236
ソフトウェア	594,000	594,000	39,600	554,400
合計	29,931,353	1,780,680	2,455,765	4,384,326

4. 他会計振替額について

令和2年度の千葉県による事業報告等に係る提出書類の事前調査報告において、平成25年度分から令和2年度分において、正味財産増減計算書での他会計振替額の記載漏れの指摘があり、平成25年度分から令和2年度分までの合計額9,771,105円を「他会計振替額過年度修正額」と表示した。